

オリンピック聖火リレーの実施方法

見直しポイント

コロナ感染 拡大防止

定員設定による
観覧者数抑制

著名人ランナーに
公道走行の辞退を
お願い

経費削減

ルート見直しに
よる規模縮小

現行計画

- 県内19市町村すべてで、パレードを実施
- 公道エリア・セレブレーション会場とも観覧制限なし
- セレブレーション会場で県イベント実施

見直しによる効果

- ルート短縮により、沿道警備経費を大幅に削減
- 観客制限により、クラスター発生リスクを低減
- 県イベント縮小により、セレブレーション運営費を削減

見直し後の最終調整案

- 15市町村は、既存ルートを短縮
(鳥取市は他の3市程度へ)
- 4市町は、従来計画を基本に実施
(米子市、境港市、倉吉市、北栄町)
- リレー区間とセレブレーション会場は、事前申込制とし抽選により観客制限することを基本とし、密ができない工夫を
- セレブレーション会場の県イベント縮小
- 著名人ランナー（イモトアヤコさん、森下広一さん）の走行辞退

事業費削減額
3.5千万円